

令和5年度

# 事業計画書

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月 31日

社会福祉法人青垣福祉会

## 令和5年度事業計画

### 社会福祉法人青垣福祉会の基本理念

慈 愛…真心のこもった教育及び保育の充実に努めます。

信 愛…保護者と園の信頼関係の上にたった安心・安全な子育てに取り組みます。

郷土愛…地域を愛し大切にすることを育てます。

令和4年度は、旧芦田保育園跡地を利用し、第二園庭の整備を行いました。令和5年度からは、その第二園庭を活用し、青垣ならではの幼児教育及び保育を展開していきます。

第二園庭では、子ども園応援隊の方々、地域の方々とともに、「わくわくする」ような取り組みを行い、この環境の中で、子ども達が自ら考え、周囲の人と協力し手を携えながら問題解決や未来的思考をもって、前向きに進んでいく体験ができるようにしていきたいと考えています。

青垣地域の出生数の減少により、令和4年度の利用定員165名を令和5年度は145名と20名減らしています。青垣で子育てをしてみたいと思って頂けるような地域にしていけるよう、令和5年度は、重点実施項目の達成に向け、法人理念を念頭に、役職員が一丸となり、事業を実施して参ります。

### 令和5年度の重点内容

#### 1 教育及び保育の充実

令和5年度は、下記の取り組みをとおし、認定こども園あおがきの教育・保育を充実させます。

##### (1) ユニバーサルな認定こども園あおがきをつくる

子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育及び保育を実践します。

##### (2) 斎藤公子のリズム遊び（リズム運動）の実践

理論的に構築されたリズム遊び（リズム運動）に取り組み、子ども達の運動機能、中枢神経系の発達を促します。

##### (3) 第二園庭での自然教育及び保育の実践

子どもたちが主体的に自然と触れ合うことで、感性や好奇心、探求心や挑戦への意欲、創造力等を育めるようにします。

##### (4) 「お試しこども園」の実施

認定こども園あおがきの取り組みを充実させ、他地域から「お試しこども園」（一時あずかり制度）を利用して頂くことで、こども園の子どもたちと共に活動し、切磋琢磨し合い、お互いが成長できる機会づくりを行います。

#### 2 業務改善及び働き方改革の推進

園児数の減少に伴い、必要配置人数は減少していますが、新規正規職員の採用が難し

い中、正規職員の数が年々減少しており、変形労働時間勤務が可能な職員も減少し、正規職員の負担が増えています。また、保育の無償化の影響を受け、長時間保育利用者が増えたのも、職員の負担を増やす要因になっています。このような課題を克服するためにも以下のような取組みをします。

- (1) 非正規職員の処遇を改善し、モチベーションアップを図ることで、正規職員負担軽減に繋がるようにします。
- (2) 労働管理などのライフワークバランス（仕事と生活の調和）にも配慮した環境整備に努め、働き続けることのできる職場環境づくりをし、人材定着に繋げます。
- (3) 園外研修内容を園内研修で共有し、共有した内容を実践で活かせるようにします。
- (4) ICT を活用し、業務軽減に繋げます。

### 3 法人の持続可能な運営

園児数減少は顕著な傾向にあり、経営面においても、今後厳しくなっていく事が予想されますが、それ以上に幼児教育及び保育は未来に必要とされる高度なスキルを持った人材育成に役立ち、大きな生産性を創っていく存在であり、教育及び保育の質の低下に繋がらないよう下記の取り組みを行います。

- (1) 職員の処遇改善を行います。（賃金改善は国の処遇改善加算を利用）
- (2) こども園の施設が建ち 13 年目を迎え、厨房機器等の老朽化、施設の修繕必要箇所が多く出てきているため、大規模改修も視野に入れた、修繕計画を作成します。
- (3) 会計事務の仕組みが複雑に変化する中で、経理規程等に基づいた適正な財務管理を行います。
- (4) 丹波市へは幼児教育及び保育の重要性を伝え、持続可能な経営支援を行っていけるよう、他法人とともに要望します。

### 4 地域における公益的な取り組み

- (1) 実習生の受入れ
- (2) トライやるウィークの受入れ（中学生）
- (3) インターンシップの受入れ（高校生）
- (4) 青垣小学校との交流
- (5) 子育て相談
- (6) 地域行事への参加
- (7) 園庭開放
- (8) 園周辺の清掃活動
- (9) 児童虐待防止ネットワークへの参加
- (10) ほっとかへんネットへの参加
- (11) 青垣小学校への絵本の読み聞かせへの参加

## 5 中期経営計画（令和5年度）

### «学習と成長の視点»

- 職員一人ひとりが資質向上できる環境を整備します。
- 人間の発達を考えた保育・教育を一層充実させます。
- 旧芦田保育園跡地を活用し、四季折々の自然体験を充実させます。
- 仕事に誇りと意欲を持って、働きたいと思える職場づくりに努めます。
- 園内研修を充実させ、研修内容を共有し実践に活かします。

重点実施項目	具体的手段
研修内容を共有し実践に活かす。	部門会議の中で研修内容を共有する。 共有した内容から実施項目を挙げ、実践し評価する。
園内研修、園外研修を充実させる。	リモート研修を活用し、勤務時間内研修をする。 新任研修の実施 ※個別懇談のロールプレイ研修を含む。 「ユニバーサルデザイン」と「保育論」の研修
保育の見える化	ユニバーサルデザインの活用 ※評価シートによる振り返り
価値観を広げる事ができる楽しい研修	職員の地域自然体験学習 メンタルヘルス講習会等
何でも言い合える雰囲気づくり	レクリエーションの実施 相談しやすい環境を整える。
やりがいのある職場づくり	ヒアリングシートの見直し ヒアリングの際の目標達成に対する評価
旧芦田保育園跡地の利用	自然体験を事業計画にいれ、実践する。

### «業務プロセスの視点»

- 他法人との交流を進めるとともに、法人内外研修の充実に努めます。
- マニュアルを見直し、マニュアルを仕事に活かします。
- 仕事の効率を進め、ワークライフバランスの充実に努めます。

重点実施項目	具体的手段
他法人との交流	他施設の視察
業務改善による業務の軽減化	カリキュラムのICT化 出席簿のICT化 共同作業場のデータ整理
	行事の見直し検討

職員の確保	職員の効果的な配置
マニュアルを仕事に活かす	マニュアルの見える化（フローチャート）
	マニュアルに沿った訓練を実施
備品や消耗品の整理	担当ごとに責任をもって整理・管理する。
	備品管理簿による点検
理事・監事の法人内外研修の充実	法人内研修の実施
	リモート研修やウェブ研修の実施

#### 《顧客の視点》

- 不審者対応やより安全な遊具対策や園内のヒヤリハット研修等を通じて、安心安全な環境づくりに努めます。
- 積極的な情報提供を行います。
- 保護者や地域のニーズを把握し、サービスの開発・改善に努めます。
- 乳幼児期に対する発達支援を明確にし、子育て支援を行います。
- 行事の在り方を再検討します。

重点実施項目	具体的手段
保護者参加型の教育・保育の推進	保護者参加の在り方を考え、実施する。 ※コロナの状況をみながら
育児相談窓口の設置	育児相談日を決めて実施する。（毎月 19 日）
地域子育ての研究	市の子育て学習センターと連携する。（会議）
	合同研修会の実施
利用しやすいホームページ	ホームページの更新
	SNS の利用について検討 (お便りや動画の配信)
	ホームページの閲覧カウントの統計をとる。
地域の相談窓口の設置	保護者へ苦情処理体制の周知
	苦情処理委員会にて情報共有 民生委員・児童委員と情報共有
保護者のニーズ把握	行事等の改善のためのアンケートを実施し、回答を開示し、必要に応じた改善
乳幼児期の大切さを保護者に伝える	子育て講演会の実施（もぐもぐ相談会とにこにこ広場及び Web 配信）
安心・安全な環境整備	ヒヤリハット研修（日常の実践に活かす。）
	不審者対応の研修実施
	不審者防衛の為の設備設置（裏口）

## 『財務の視点』

- 計画的な施設の修繕を行います。
- 資金の有効活用に努めます。
- 国や地方自治体の動向を踏まえ対応します。
- 園児数減少が見込まれる中でも、充実した教育・保育を保障するため、職員配置を適切に行います。
- 新事業についての研究を行います。

重点実施項目	具体的手段
計画的な備品購入	厨房機器の購入計画の検討
施設の修繕計画	大規模改修工事に伴う計画を具体化する。
計画的な職員採用	職員採用計画の作成
国や市の情報収集とその変化への対応	他法人と情報交換を行いながら、市へ運営支援の要望ができるようする。
新事業についての研究	地域子育て拠点事業についての研究を行う。

## 『地域公益の視点』

- 子育て支援の充実を図ります。
- 地域との交流を更に進めます。
- 地域にこども園の事を知ってもらいます。
- 小学校との連携を進めます。
- 旧芦田保育園跡地を活用し、こども園第二園庭を設置し、よい季節には、一般開放することで地域に貢献します。

重点実施項目	具体的手段
地域のニーズの把握	理事による自治協議会、自治振興会への状況説明とともに、情報収集をする。
地域に向け情報発信する	園だよりを地域の全家庭に配布する。 広報誌を地域の全家庭に配布する。
地域との交流	こども園応援隊と園児との交流 よい季節に第二園庭を地域に一般開放する。 地域のまつりやふれあいサロン等への参加
小学校とのより効果的な連携の推進	アプローチプログラムに沿って実践したこと振り返り、見直しをする。
ほっとかへんネットの活用	園児・園児以外の家庭の相談を受け付ける。